

## 【会議録】

# 「東アジア日本研究者協議会」 第八回国際学術大会 会議実録

徐興慶

(台湾・東呉大学講座教授 / 客座教授)

### 一 縁起

「東アジア日本研究者協議会 (East Asian Consortium of Japanese Studies, EACJS)」の前身は、2010年4月に韓国の済州島で、韓国日本学会主催、国際交流基金共催により開催された「東アジア日本研究フォーラム」である。以降、日本、中国、韓国と主催地を交代しながら、年に一度のペースで開催されてきた。その二回り目が終了する際、東アジアの各大学の若手研究者、特に博士課程の院生も参加できるように、2016年11月30日「東アジア日本研究者協議会」が発足し、翌日から12月2日にかけてソウル大学主催により、韓国の仁川で第一回国際会議が開催された。

本協議会の趣旨は、国境を越えた日本研究者の学術的な交流の場を作ることと若手研究者の育成にある。本大会は、東アジアを中心とした国々の研究者に、多様な分野において蓄積されてきた日本研究に関する成果を発表・議論する場を提供し、日本研究と日本研究者の国際的交流の発展に寄与することを目的としている。本大会が誕生したゆえんは、北米を中心としたアジア学会 (Association for Asian Studies, AAS)、欧州を中心とした欧州日本学会 (European